



鴨田あまつ通信

発行/鴨田あまつ後援会
舞鶴市字境谷158
TEL0773-75-0800
mail k.akitsu3@gmail.com

「前途洋洋」

希望に満ち満ちた新年度！

春陽の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

これだけ降雪がなかった冬は記憶にありません。日常生活がしやすい一方で、例えば農家さんやスキー場経営者などにとっては死活問題です。日本は四季折々の魅力ある国であり、適度な雪が降ってこそ情緒ある日本の冬と言えるのではないのでしょうか。

そんな暖かかった冬も過ぎ去り、新年度がスタートしました。別れと新たな出会いの季節でもあります。進級、進学、就職、また職場の異動など、様々な生活環境の変化があるでしょう。こういった環境に身を置こうとも、洋々たる前途が打ち開ける。そう信じて、私自身も活動しております。

さて日本国において新たな元号が「令和」と発表されました。皇太子様が新天皇に即位する5月1日午前0時に新元号に改められ、30年余り続いた平成の時代が終わりを告げます。

舞鶴市においては新たな総合計画が4月から施行されました。議会においてもその責務をしっかりと果たして参ります。

最後になりましたが、本年度も皆様には変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、令和が皆様にとりまして素晴らしい時代となりますようお祈り申し上げます。

鴨田 秋津



3月定例会の一般質問に立ちました！

昨年の12月定例会に引き続き、今定例会でも壇上に。初めての一問一答方式です。

※一般質問には一括方式、分割方式、一問一答方式の3種類から選択できます。
一問一答方式は質問数に制限がなく（一括、分割は3回まで）対話に近いことから話の流れが分かりやすいといえます。

■今回の私の質問は

2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」についてです。

- (1) これまでの誘致活動の経過について
- (2) 観光客数と経済効果の見通しについて
- (3) 市役所の本気度について
- (4) 他の自治体との連携について
- (5) 観光施設整備について
- (6) 市民に対する啓発について

観光拠点となる田辺城趾



当日は多くの傍聴にお越し下さりありがとうございました。

項目(2)の問いに対しては、田辺城趾や心種園など数多くの歴史スポットを活かした回遊コースを設定するなど、広く発信し、多くの誘客を回り、関連するお土産の開発など、観光協会や商店街、商工会議所の皆様とともに積極的に取り組むと回答。

項目(5)の要旨の中で「田辺城趾北側の整備工事」の問いについては、築50年以上が経過し、老朽化が進んでいる旧喫茶ふろーを解体することとしており、現在未整備となっている北側の区域には和風の東屋や遠路などの整備を計画しているとの回答。

項目(6)の要旨の中で、義務教育において地元の歴史を伝える授業を充実させる予定を問うたところ、教育委員会としても大河ドラマ放映を機に、舞鶴の歴史学習に生かしていくとの回答を得ることができました。

3月一般質問の動画は
ユーチューブ
YouTubeで
いつでも閲覧できます



平成31年度舞鶴市一般会計予算等について審議

今定例会では第1号議案から38号議案までを審議。委員会については第2号議案「平成31年度舞鶴市一般会計予算」を中心に数々の積極的な質問をしました。その中で主な質問を抜粋します。

= 幼児教育の無償化 =

今回の予算の中の大きな柱として、幼児教育の無償化があげられます。国による少子化対策のひとつとして行う事業であり、保育サービスの提供を受ける者の負担軽減を図ります。内容としては3歳から5歳までの全ての子ども及び0歳から2歳までの住民非課税世帯の子どもについて利用料が**本年10月から無償化となります**。(対象：保育所・認定こども園・幼稚園・幼稚園預かり保育・認可外保育施設・一時預かり・病児保育・障害児通園施設)

※給食費や送迎費など実費徴収や延長保育料は対象外です。

舞鶴市の場合、都市部で深刻となっている待機児童はゼロを継続しています。無償化になることで、利用者の増加が予想されますが、対象となる3歳から5歳までの子どもの98%以上が既に利用者であることから、引き続き待機児童ゼロを継続できる見込みとなっています。しかしながら一時預かりや病児保育は現在でも人手不足であり、無償化に移行し利用希望者が増加したところで、受け入れられないことが予想され、改善に向けて要望しました。



= 子育て支援医療助成 =

子育て家庭に対する経済的な支援策として、府と協調により中学生の通院の自己負担額が、**現行月3,000円から1,500円に軽減されます**。0歳から小学生の通院自己負担額は現行の200円から変更ありません。

子育て世代にとって大きな負担軽減となり評価できる事業です。但し、償金払い(利用者が病院等で費用をいったん全額支払い、その後市に申請して払い戻しをけること)は忙しい親世代にとって大変であり、職員の業務負担の観点からも、改善できるよう要望しました。



= スクールロイヤール設置 =

学校で起こる様々なトラブル等について、問題が深刻化する前に適切に対応できるよう、**弁護士を学校に派遣するなど**、助言や指導を受けられる体制を構築する今年度からの新たな事業であり、**京都府内では初の試み**です。

学校での諸問題は昔では考えられなかった問題が発生しています。いじめや保護者間のトラブル、教員の働き方改革等々、学校からの相談に中立的な立場で幅広く助言し、必要に応じて学校に出向き、保護者らの話し合いにも参加するとのことで、今後注目しています。

インターネットでは、日々の活動をより詳細に更新しています。ぜひご覧ください。

鴨田秋津プロフィール 1981年11月11日生まれ(37歳)

【学歴】拓殖大学経済学部 卒 【趣味】柔道(5段)、魚釣り

【家族】妻・子ども3人(1男2女)

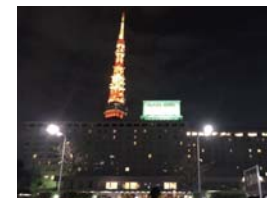
柔道教室で子ども達の指導をはじめ、各種団体に青少年育成活動等を行っています。



終わりに

月日が経つのは早いもので、警視庁警察学校を卒業して13年となります。当時の担当教官(担任の先生のようなイメージです)が定年退職されるため、同期一同でお祝いをするために上京しました。当時の教条訓は「気合」です。何事も気合を入れて行動しなさいという意味と、相手に気を合わせなさい。つまり被害者や弱者の気持ちになって職務を全うせよとの意味が込められています。今思えば政治にも通ずる言葉です。教官や当時の仲間達と近況報告ができ、有意義な時間を過ごせました。

大学時代を合わせると約10年間の東京生活。第2の故郷ともいえます。政治、経済、行政、あらゆる面で日本の中心であり、多くの経験をさせていただきました。井の中の蛙では視野は広がらない。得たものをしっかりと舞鶴に持ち帰り、生かして参ります。



編集部よりひとこと

編集委員のMです。

お陰様で鴨田あきつ通信第2号の編集を終えました。

鴨田の一般質問にもありましたが、2020年には明智光秀が主人公である大河ドラマ放映され、光秀の盟友・細川幽斎がドラマの中でどのような位置付けで登場するか。ファンとして期待しています。また東京では五輪が開催されます。舞鶴にはレスリング・柔道のウズベキスタン代表選手が来鶴され、合宿地となります。スポーツや歴史面で舞鶴が飛躍する年。では市民として期待するだけでなく、自分には何ができるか。どんな風に参画できるのか。傍観するだけでなく、そんな視点で考えてみることも大事だなと思ってます。なにはともあれ、今後とも鴨田あきつ通信にご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

地域の要望等、些細な事でも構いません。是非お気軽にご相談下さい!

TEL:0773-75-0800 mail:k.akitsu3@gmail.com

ウェブサイト <https://kamoda.info/>
facebook <https://www.facebook.com/akitsu.kamoda>
twitter <https://twitter.com/AkitsuKamoda>